

医療従事者の負担軽減および処遇改善

医療従事者等の負担軽減及び処遇改善への取組み

当院では勤務医・看護職員・医療従事者の負担軽減及び処遇改善のため、下記のような取り組みを行っております。

1. 部門別取組み一覧

部門	改善項目	取組み内容
診療部	◆働き方	・宿直明けの午後勤務免除・緩和の実施を検討 ・男性医師産育休取得奨励、子育て支援時間給取得促進
	◆診療体制	・短時間（週4日）常勤医師の採用による確保 ・外来業務の標準化と地域連携、多職種によるPFMの推進
看護部	◆業務量調整	・各部署の状況に合わせた遅番体制・応援体制の確保
	◆業務効率化	・記録のDX化、案内・説明業務の動画化
	◆補助者配置	・夜間帯への看護補助者配置の開始
薬剤部	◆業務効率化	・カルテへの記録についてテンプレートの活用を推進
	◆情報共有	・医薬品情報の速やかな公開
リハビリテーション部	◆業務量	・残業申請ルールの統一とカルテ記録テンプレートの活用
	◆人員数	・SNSや実習生受け入れを通じた採用活動の促進
	◆情報共有	・サイネージやコメックス活用による情報共有の効率化
医事課	◆診療体制	・検査説明センターの運用拡大と紹介返信95%以上の維持
	◆業務体制	・地連からDCへの返書管理移行、係間のタスクシェア
	◆DX・IT推進	・AI問診、生成AIによる文書作成、ポケさぼ等の活用
栄養科	◆業務効率	・食物アレルギー聞き取りフロー作成と記録のテンプレート化 ・資料の5Sおよび共有フォルダ内の整理による検索手間削減
検査科	◆働き方	・始業時手順の見直しによる適正化・効率化
	◆業務効率	・技師間での検査説明内容の統一化
	◆情報共有	・ミーティング議事録の確認徹底による情報共有
放射線科	◆働き方	・手術や検査説明センター業務への柔軟な人員配置（増員なしでの対応）
	◆人員配置	・造影検査時の看護業務タスクシェアの計画的拡大
臨床工学科	◆働き方	・手術室医療機器（電気メス等）の管理・点検業務の担い
	◆人員配置	・心臓カテーテル介助者の増員による体制強化

2. 医師からのタスクシフト実施項目

医師の負担軽減を目的に、以下の業務を多職種へシフトしています。

シフト先	タスクシフトの内容
看護師	・外来/救急外来でのトリアージ実施 ・特定行為（PICC挿入、血ガス採血、ドレーン抜去等）の実施 ・医師による説明への同席とコミュニケーション支援
薬剤師	・クリティカルパス作成、レジメン登録 ・定期処方代行入力、採用薬変更に伴うセット登録更新
放射線技師	・画像再構成等の手術前画像支援、読影レポート見落とし防止 ・CT・MRI造影検査の説明、手術室イメージ業務
臨床検査技師	・エコーを用いた処置/検査の補助、病理検体の切り出し ・遺伝子検査の結果管理や会計に関する補助業務
医師事務作業補助者	・診断書、退院サマリー、紹介状返信等の文書作成代行 ・オーダー/予約の代行入力、AI問診の活用拡大
管理栄養士	・食事指示の代行入力、栄養食事指導の実施時期判断 ・食事内容や経管栄養の種類・栄養量の提案
臨床工学士	・心臓カテーテル検査・治療介助の体制強化（増員）
理学・作業・言語 各療法士	・リハビリに関する各種書類の代行作成 ・各種評価（ADL、高次脳機能等）や嚥下検査・訓練の実施

3. 看護師からのタスクシフト実施項目

看護師の負担軽減を目的に、以下の業務を多職種へシフトしています。

シフト先	タスクシフトの内容
薬剤師	・入院患者の薬剤管理、 ・配置薬の管理 ・高カロリー輸液の調製
放射線技師	・告示研修修了者によるCT・MRI検査時の造影剤投与 ・検査室内にある薬剤、中材管理
臨床検査技師	・外来における採血業務実施 ・処置室看護師との患者支援業務の協働
管理栄養士	・病棟専任管理栄養士による入院患者の栄養に係る情報共有
臨床工学士	・医療機器安全使用のための病棟巡回による使用状況確認と管理 ・手術室医療機器の管理
理学・作業・言語 各療法士	・各療法治療時の喀痰吸引の実施 ・バイタル測定値の記録と情報共有 ・生活リハビリを通じた患者支援の協働